

凍結防止をする

本体周辺の温度が0℃以下になると配管が凍結し、本体や配管が凍結することがあります。浴槽にお湯を残して、凍結予防を行ってください。凍結のおそれがある場合は、必ず凍結防止ヒーターによる凍結防止（39ページ）も行ってください。

凍結防止運転の設定

凍結防止運転を台所リモコンで設定します。

お買い上げ時の設定・・・入
選べる設定……………入/切

〈設定方法〉

1 通常時の表示のときに「メニュー」を押す

2 「メニュー」を5回押しして「その他設定」に合わせ「確定」を押す

3 「メニュー」を5回押しして「凍結防止運転」に合わせ「確定」を押す

4 「メニュー」で「入」を選び「確定」を押す

設定されました

<表示内容>
湯沸かし 標準
沸き増し 自動
操作ロック
戻る 確定

<表示内容>
操作ロック
停止日数 0日
その他設定
戻る 確定

<表示内容>
湯量通知 切
HP空気抜き運転 切
凍結防止運転 切
戻る 確定

<表示内容>
凍結防止運転
入
切
戻る 確定

〈解除方法〉

1 設定方法の項目1から項目3をおこなう

2 「メニュー」で「切」を選び「確定」を押す

設定されました

<表示内容>
凍結防止運転
入
切
戻る 確定

お知らせ

- 「メニュー」スイッチを押すたびに前回表示していた画面へ戻り、通常時の表示まで戻ることができます。
- スイッチが1分以上押されないときは、通常時の表示に戻ります。

上手な使い方

蛇口からお湯を少しずつ（雫が落ちる程度）出湯すると配管の凍結を防止できます。



凍結防止運転を使用する

入浴後の残り湯を使って自動で断続して循環し、ふる配管の凍結を防止します。また、ヒートポンプユニットを動作させて、ヒートポンプ配管の凍結を防止します。

①入浴後、排水せずに浴槽の湯を残す

（浴槽に残すお湯の目安は浴槽アダプターより約5cm以上です。）

②そのまま放置する

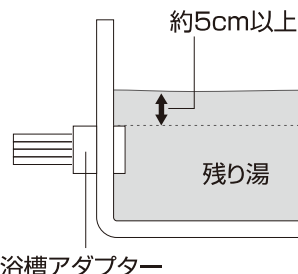
- 外気温が低くなると凍結防止運転のために浴槽循環ポンプを動作させて浴槽の残り湯を循環します。動作中は浴槽リモコンに▶マークが順送りに表示します。
- 外気温が低くなると凍結防止運転のためにヒートポンプユニットを動作させます。動作中は台所リモコンに「沸上中」が表示します。

お願い

- 外気温が低いときは、浴槽内の水が常に浴槽アダプターより上にある状態でご使用ください。

お知らせ

- 浴槽アダプターまで残り湯がないと、リモコンにエラー「E25」を表示し、浴槽循環ポンプによる凍結防止運転を停止します。（浴槽リモコンのぬるくスイッチを押し、さし水をするとうエラーは解除できます。）
- 停止日数を設定しているときや沸き増しを設定していないときでも、凍結防止運転のためヒートポンプユニットや浴槽循環ポンプが動作することがあります。
- 凍結防止運転を使用しないときは「切」に設定してください。ただし凍結するおそれがありますのでご注意ください。

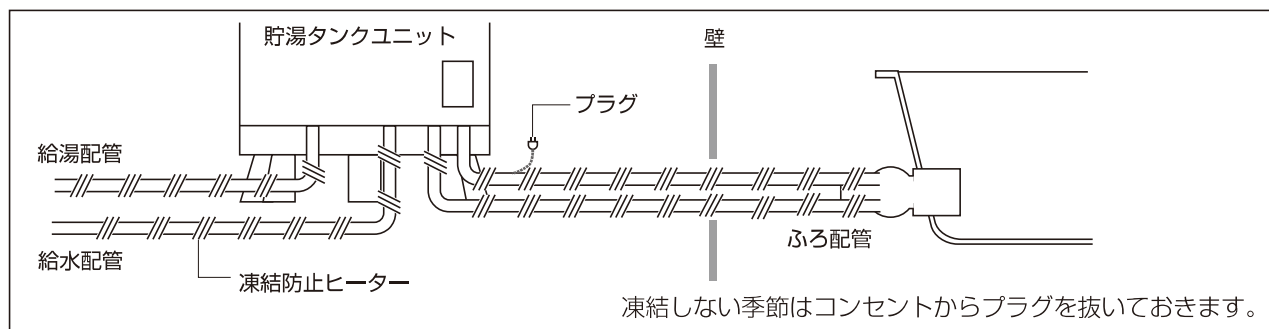


凍結防止ヒーター(市販品)を使う

凍結防止ヒーターが図のように巻かれているか確認します。
使用するときには、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。

⚠ 注意

凍結防止対策の確認をする
凍結するとタンクや配管が破裂して、
水漏れでやけどをすることがあります。



お願い

●配管が凍結した場合は、給湯機専用止水栓を閉じて販売店(据付工事店)へご連絡ください。

停電したとき

この給湯機にはメモリ機能が内蔵されています。停電になった場合でも、1週間は時刻や設定値を記憶しています。

お願い

- 場合によっては時刻がずれたり、設定値が変わることがありますので、停電復帰後、必ず時刻や設定が変わっていないか確認し、変わっている場合は再度設定してください。(→14ページ)
- ふろ自動運転中に停電した時は、ランプが消灯し、運転は「OFF」になります。
停電終了後、再度「ふろ自動」スイッチを押してください。
- 停電中は給湯温度をコントロールできないため、蛇口よりお湯が出ません。(水が出る場合があります)

